

American DJ®

FUSION TRI FX BAR

取扱説明書

Ver. 1.00



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は American DJ FUSION TRI FX BAR をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
FUSION TRI FX BAR はカラーウォッシャーとカラーピンスポットライトが一体となった LED エフェクト照明です。

製品の性能を十分に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

特徴

- カラーウォッシャー/カラーピンスポットライト一体型 LED エフェクト
- ストロボ機能
- サウンドアクティブ対応（本体にマイクを内蔵）
- ショーモード（プログラム内蔵）
- DMX-512 対応（8DMX チャンネル）

安全上の注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常がある場合は本製品の使用をお止め頂き、販売店にご相談ください。
2. 本体は必ず安全で、安定した場所に設置してください。電源ケーブルが破損していないことを確認の上、踏まれたり挟まれたりすることのない場所に設置してください。また、アース端子は必ず接続してください。
3. AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。ディマーパックからの電源供給によるご使用はお止めください。
4. 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れてください。本体を他の機材と接続する際には、必ず電源ケーブルをコンセントから外して行ってください。
5. ケーブルを抜き差しする際はプラグを持って行ってください。
6. 本製品は屋内専用です。屋外で使用した場合は保証対象外となります。
7. 感電防止のため、使用中は部品に触れないでください。また、本体カバーを外した状態で本製品を使用しないでください。
8. 本体は壁から 15cm 以上離れた通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意ください。使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないでください。
9. 本体に液体がかからないよう、また雨天や湿気にさらさないようご注意ください。感電や火災の原因になります。
10. 長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

故障が生じた場合は、お手数ですが販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となる場合があります。

オペレーションモード

FUSION TRI FX BAR では以下のモードが選択できます。

サウンドアクティブモード： 内蔵マイクで感知した音に反応して本体のプログラムが動作します。

ショーモード : 16 の内蔵プログラムから任意のショーを選択します。

マスター/スレープモード： 接続した複数の灯体を同期させます。

DMX コントロールモード : 外部 DMX コントローラーで制御を行います。

システムメニュー

メニュー	選択画面	機能
Addr	1	DMX スタートアドレスの設定
	5 12	
SLNd	MASt	マスターモード
	SL 1	スレーブモード(ノーマル)
	SL 2	スレーブモード(2 Light Show)
ShNd	Sh 0	ランダムショー
	Sh 1 : Sh 16	ショーモード 1~16
SoUn	on	サウンドアクティブモード ON
	off	サウンドアクティブモード OFF
bLNd	YES	ブラックアウト
	no	ブラックアウトの解除
LEd	on	ディスプレイの点灯
	off	ディスプレイの消灯
dISP	dISP	ディスプレイの正転
	dS IP	ディスプレイの反転
Ndnu	LEd1	ウォッシャー1(赤)のテスト
	LEd2	ウォッシャー2(緑)のテスト
	LEd3	ウォッシャー3(青)のテスト
	P 1n1	スポットライト1のテスト
	P 1n2	スポットライト2のテスト
	P 1n3	スポットライト3のテスト
	P 1n4	スポットライト4のテスト
tEst		オートテスト
FhrS		灯体の稼働時間
ver		ソフトウェアのバージョン

操作方法

メニューの設定は MENU ボタンを押して、UP/DOWN ボタンで機能を選択し、ENTER ボタンを押して行います。UP/DOWN ボタンで機能を調節し、ENTER ボタンで確定します。MENU ボタンを 3 秒以上長押しすることで変更がシステムメモリに保存されます。MENU ボタンを押さずに 1 分程度経過すると、同様に変更が記憶されます。調整を行わない場合は MENU ボタンを押してください。

Addr DMX アドレス設定

1. Addr と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押してください。
2. ディスプレイに DMX アドレスを表す数値が表示されます。UP/DOWN ボタンを押して任意の DMX アドレスを選択し、ENTER ボタンを押します。

SLNd マスター/スレーブ設定

1. SLNd と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押してください。
2. MAST、SL 1、SL 2 のいずれかが表示されます。MAST はマスターモード、SL 1 及び SL 2 はスレーブモードを表します。UP/DOWN ボタンを押していずれかを選択し、ENTER ボタンを押して確定してください。

※SL 2 に設定した場合、マスター機と対称的な動作をします。

ShNd ショーモード (サウンドアクティブモード可)

1. ShNd と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押してください。
2. “Sh X” と表示されます。“X” はプログラムナンバー(0-16)を表します。1~6 はプリセットショー、0 はランダムショーです。UP/DOWN ボタンを押して任意のプログラムを選択し、ENTER ボタンを押してください。

SoUn サウンドアクティブモード

1. SoUn と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押してください。
2. ON (サウンドアクティブ オン) または OFF (サウンドアクティブ オフ) と表示されます。UP/DOWN ボタンを押していずれかを選択し、ENTER ボタンを押してください。

※サウンドアクティブ動作時のマイク感度は、本体背面のツマミで調整できます。

blnd ブラックアウト設定

1. blnd と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押してください。
2. yes (ブラックアウト)またはno (ブラックアウト解除)と表示されますので、UP/DOWN ボタンを押し、いずれかを選択し、ENTER ボタンを押してください。

led ディスプレイの ON/OFF

1. led と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押してください。
2. on (常時ディスプレイ点灯)またはoff (約 1 分後にディスプレイ消灯)と表示されます。UP/DOWN ボタンを押し、いずれかを選択し、ENTER ボタンを押してください。

disp ディスプレイの反転

1. disp と表示されるまで MENU ボタンを押してください。
2. ENTER ボタンを押すと、ディスプレイの表示が逆転しds ip という表示に変わります。元の表示に戻すにはもう一度 ENTER ボタンを押します。メインメニューに戻る時は MENU ボタンを押してください。

manu 各機能のマニュアルテスト

1. manu と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押してください。
2. UP/DOWN ボタンを押し、テストを行う機能を選択し、ENTER ボタンで決定します。
3. UP/DOWN ボタンを押し、0-255 の間で数値を調整し、ENTER ボタンで決定します。
4. 続けて他の機能をテストする時は、2~3 の手順を繰り返してください。メインメニューに戻る時は MENU ボタンを押してください。


test オートテスト

1. test と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押してください。
2. オートテストが行われます。メインメニューに戻る時は MENU ボタンを押してください。

fhrs 稼働時間

1. fhrs と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押してください。
2. 灯体の稼働時間が表示されます。メインメニューに戻る時は MENU ボタンを押してください。

バージョン情報

1.  と表示されるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押してください。
2. ソフトウェアのバージョンが表示されます。メインメニューに戻る時は MENU ボタンを押してください。

電源ケーブルの直列接続について

IEC ソケットを使用して連結することで、最大 19 台までの FUSION TRI FX BAR に電源供給が行えます。19 台を超える場合は、新たに電源を供給する必要があります。FUSION TRI FX BAR 以外の機種を混ぜて接続しないでください。

マスタースレーブモード

最大 16 台の FUSION TRI FX BAR を連結して同期させることができます。1 台の FUSION TRI FX BAR をマスターユニットとし、その他の FUSION TRI FX BAR は全てスレーブユニットに設定します。スレーブユニットはマスターユニットのプログラムに合わせて動作します。FUSION TRI FX BAR 以外の機器は混合して接続しないでください。

[接続と設定]

1. マスターとなるユニットを 1 台選びます。
2. 各機器の背面をデジタル 3 ピン XLR ケーブルで直列に連結してください。マスターユニットが始点となるようにし、マスターユニットの DMX 出力端子に 3 ピンデジタル XLR デジタルケーブルのオスを接続します。長いケーブルをご使用の際には、最後のユニットにターミネーターを接続してください。
3. マスターとなるユニットをマスターモードにし、任意のショーまたはサウンドアクティブモードに設定します。
4. スレーブとなるユニットを任意のスレーブモードに設定すると、スレーブユニットがマスターユニットに合わせて動作します。

UC-3 コントロール

スタンドアローン、マスター/スレーブモードにおいて、別売の UC-3 で制御を行います。

STAND BY	ブラックアウト	
FUNCTION	1. LED - サウンドアクティブ ストロボ 2. スポット - サウンドアクティブ ストロボ	ショーの選択(1-16)
MODE	サウンドアクティブ (LED オフ)	ショー (LED オン)

DMX コントロールモード

DMX コントローラーで制御を行います。

[設定方法]

1. FUSION TRI FX BARと DMX コントローラーを XLR デジタルケーブルで接続します。FUSION TRI FX BAR は 3ピン XLR 仕様です。
2. 前述の「DMX アドレス設定」に従って、任意の DMX アドレスを設定します。
3. DMX 表と DMX コントローラーの取扱説明書を参照しながら制御を行ってください。

- DMX 表 -

チャンネル	DMX 値	機能
1	0 - 9	<u>チェース / ストロボ</u> オフ
	10 - 19	チェイス 1
	20 - 29	チェイス 2
	30 - 39	チェイス 3
	40 - 49	チェイス 4
	50 - 59	チェイス 5
	60 - 69	チェイス 6
	70 - 79	チェイス 7
	80 - 89	チェイス 8
	90 - 99	チェイス 9
	100 - 109	チェイス 10
	110 - 119	チェイス 11
	120 - 129	チェイス 12
	130 - 139	チェイス 13
	140 - 149	チェイス 14
	150 - 159	チェイス 15
	160 - 169	チェイス 16
170 - 179	チェイス 17	
180 - 249	ストロボ 遅 → 速	
250 - 255	点灯	

2	0 - 9	<u>TRI LED ピンスポット 1</u>
	10 - 49	オフ
	50 - 89	カラー1
	90 - 129	カラー2
	130 - 169	カラー3
	170 - 209	カラー4
	210 - 249	カラー5
	250 - 255	カラー6
3	0 - 255	<u>赤 LED 0-100%</u>
4	0 - 9	<u>TRI LED ピンスポット 2</u>
	10 - 49	オフ
	50 - 89	カラー1
	90 - 129	カラー2
	130 - 169	カラー3
	170 - 209	カラー4
	210 - 249	カラー5
	250 - 255	カラー6
5	0 - 255	<u>緑 LED 0-100%</u>
6	0 - 9	<u>TRI LED ピンスポット 3</u>
	10 - 49	オフ
	50 - 89	カラー1
	90 - 129	カラー2
	130 - 169	カラー3
	170 - 209	カラー4
	210 - 249	カラー5
	250 - 255	カラー6
7	0 - 255	<u>青 LED 0-100%</u>
8	0 - 9	<u>TRI LED ピンスポット 4</u>
	10 - 49	オフ
	50 - 89	カラー1
	90 - 129	カラー2
	130 - 169	カラー3
	170 - 209	カラー4
	210 - 249	カラー5
	250 - 255	カラー6

※CH1 の値が 0-179 の時、CH2~8 は無効となります。

DMX-512 について

DMX-512

DMX-512 とは、照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行うための、世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の IN/OUT 端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

DMXリンク

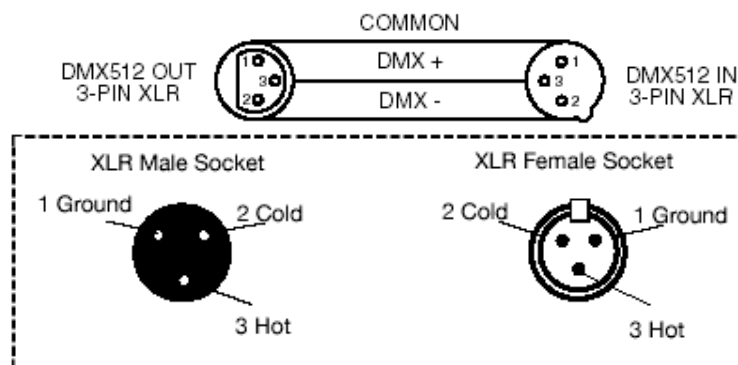
DMXデータの正確な送受信を行うために、ユニット間をつなぐケーブルはできる限り短いものをお使いください。また、ユニットが接続された順番とDMXのアドレス指定は関係しません。接続されたユニットに対して任意のアドレスを設定することが可能です。

DMX ケーブル

FUSION TRI FX BAR は 8 チャンネルの DMX 信号を使用するユニットです。DMX アドレスは本体の背面で設定してください。DMX 機器との接続は 3 ピン XLR 仕様のデジタルケーブルを使用して直列に行います。



DMX ケーブルを作る際は、以下の図を参照してください。

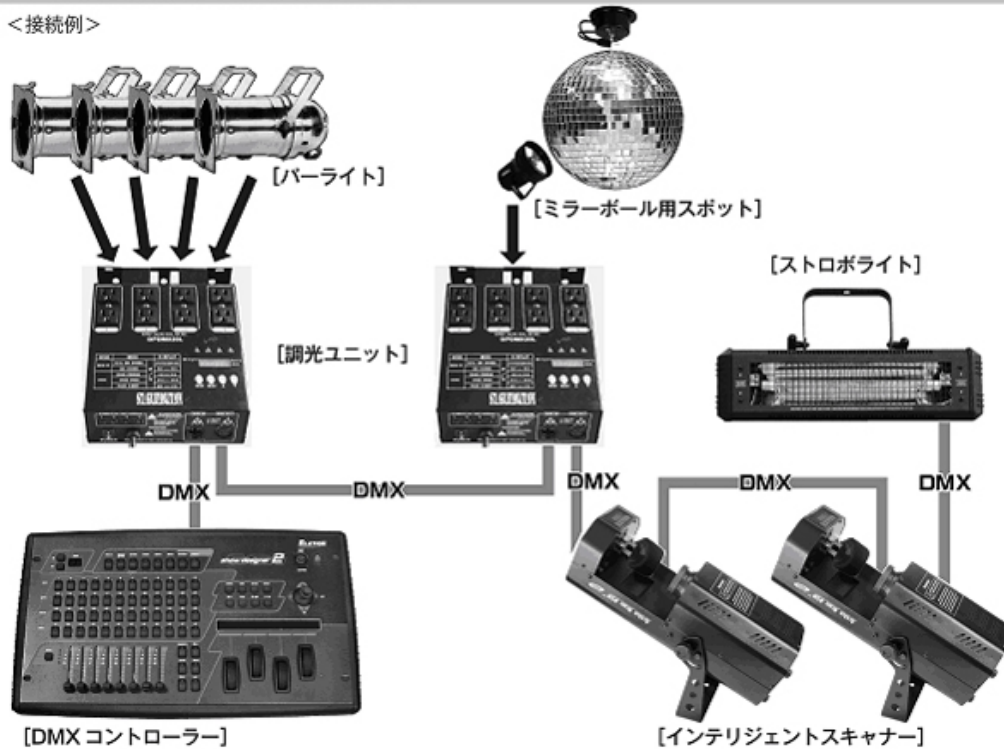


5 ピン XLR 仕様の DMX コネクタ

メーカーによっては 3 ピン XLR コネクタの代わりに 5 ピン XLR コネクタを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン XLR コネクタを FUSION TRI FX BAR に接続する際は変換アダプターをお使いください。

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>



- ・DMX 対応の照明機器は、上図の様に配線を行います。配線には DMX ケーブルを使用してください。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。
- ・DMX 対応の照明機器を接続する順番は決まっていません。なるべく距離が長くない様に配線してください。
- ※
- ・調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト等の明るさを調整することが可能です。
- ・インテリジェントスキャナーやストロボ等の電源は通常のコンセントから取ってください。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX 非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取ってください。

※一長距離の配線について

50mを超えるような配線になる場合、DMX 信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用してください。ターミネーターとは最後に接続された DMX 対応照明機器(上図の場合ストロボライト)の出力に差し込むダンププラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照してください。

ターミネーターの作成方法

	<p>ターミネーターは、HOSA DMT-414をお薦め致します。</p>
<p>抵抗</p>	<p>自作される場合はオスのXLRコネクタを使用し、120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。</p>

ヒューズ交換

1. 電源ケーブルを本体から抜いてください。
2. 電源ケーブル差込口の隣にあるヒューズホルダーをマイナスドライバーなどで引き出して取り外します。
3. ヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーを本体に取り付けます。

メンテナンス方法

使用頻度、環境に応じたメンテナンスを行ってください。＜ ＞内は対応期間の目安となります。

※1 メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行ってください。

※2 ガラスクリーナーやアルコール等でのクリーニング後は、完全に乾かしてからご使用下さい。

外側のカバー <一週間に一度>

■カバーが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行ってください。

信号ケーブル、電源ケーブル差込口 <一ヶ月に一度>

■差込口に埃や汚れがつかますと、ショートし、灯体が正常に作動しない恐れがあります。

→エアードスターやブラシで埃を除去してください。差込口にぐらつき等がないかご確認ください。

ネジ <三ヶ月に一度>

■各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。

→各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認ください。

故障かな？と思ったら

製品が正しく動作しない場合は、まず下記をご確認ください。

下記の方法でも症状が改善されない、またその他不具合が確認された場合は、販売店もしくは正規代理店までお問い合わせください。

症状	確認事項
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">正しい電源・電圧に接続されているか電源ケーブルが損傷していないかヒューズが切れていないか
DMX で動作しない	<ul style="list-style-type: none">接続に問題がないか正常な DMX ケーブルを使用しているかDMX アドレスが正しく設定されているか
サウンドアクティブで動作しない	<ul style="list-style-type: none">小さい音や高音でないかマイク感度が低く設定されていないか
マスター/スレーブモードで動作しない	<ul style="list-style-type: none">接続された機器の内、1 台のみがマスター機に設定されているか

製品仕様

LED	ウォッシュャー : 赤 45 個、緑 45 個、青 45 個 ピンスポットライト : TRI Color 3-in-1 LED × 4
DMX チャンネル数	8 チャンネル
消費電力	32W
ヒューズ	6.3A タイムラグ 20mm
使用電圧	AC100V、50/60Hz
寸法(ブラケット付き)	W 53.8 × H 26.3 × D14.3 cm
重量	3.7kg

※製品の仕様は改良のため、予告無く変更する場合がございます。



保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適当（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。